

科目区分	専門教育科目	科目名	保育内容「表現」		科目コード	17Y530	担当者	本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの表現を読み取り、感性や創造性を豊かにするための援助・指導のあり方や、保育者自身の表現の重要性について学ぶ。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	領域「表現」の内容を理解する。										
2.	子どもの表現を理解し、豊かに育む援助・指導を考える。										
3.	自らの表現力を高める意識を持つ。										
4.								◎	○		○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 提出物（10%） 受講態度（10%）					
毎回レジュメを配布する。教科書を使用し、板書をしながら講義形式で行う。											
準備学修						課題等への対応					
子どもとかかわる機会を持つ。教科書に目を通しておく（約30分）。						課題等提出物は、担当教員が目を通し、授業内で返却する。その際、修得が不十分とみられる授業内容について補足をする。定期試験は、再試験を行うが、それでも合格点に達しないものは不合格とする。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション、保育の基本・目的について、保育内容について										
第2回	領域「表現」について										
第3回	領域「表現」における保育内容の歴史的変遷										
第4回	子どもの存在と表現										
第5回	表現を育む環境										
第6回	諸感覚を通しての感性と表現										
第7回	生命に対する感性と表現										
第8回	音楽に対する感性と表現										
第9回	造形に対する感性と表現										
第10回	総計に対する感性と表現（VTR視聴）										
第11回	子どもの感性と表現を育む保育者の役割①										
第12回	子どもの感性と表現を育む保育者の役割②										
第13回	保育内容「表現」の課題										
第14回	表現遊びの実践										
第15回	保育内容「表現」で大切にしていること（確認及びまとめ）										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
最新保育講座 保育内容「表現」 平田智久・小林紀子・砂上史子編 ミネルヴァ書房						乳幼児の日常生活の様々な表現に目を向け、その素朴な表現を受け止められる保育者になりましょう。そのために、子どもとかかわる時は、言葉・表情・しぐさなどを観察し、内面を読み取るようにしましょう。					